

用語解説

①注進状（ちゅうしんじょう）

上位者に対して事柄を細かく注記して提出する報告書。

②憲政（のりまさ）

関東管領山内上杉憲政。河越合戦敗北後、長尾景虎を頼り、越後へ移り後に景虎に管領職を譲った。

③長尾景虎（ながおかげとら）

越後の武将長尾為景の子、上杉憲政の依頼を受けて関東に進攻し、北条氏と戦った。後の上杉謙信。

④厩橋（まやばし）

現在の群馬県前橋市にあった厩橋城のこと。謙信の関東進攻以後、謙信の関東における拠点城郭となる。

⑤横地（よこち）

八王子城主北条氏照家臣の横地吉信か。

⑥御嶽（みたけ）

神川町渡瀬にある城郭御獄城のこと。

⑦昌龍寺（しょうりゅうじ）

寄居町にある曹洞宗寺院。氏邦夫妻の墓が所在。

⑧右衛門佐老母（えもんのすけろうぼ）

武蔵秩父天神山城（長瀨町）城主藤田康邦の母のこと。氏邦の養母にあたる。

⑨三山（さんやま）

三山定綱のこと。秩父の三山（小鹿野町）出身。氏邦の藤田家継承にあたり、先に天神山城に入り、その準備にあたるとともに、氏邦の鉢形領支配初期段階で補佐役として氏邦を支えた。

⑩高松衆（たかまつしゅう）

高松城（皆野町）城主逸見氏を中心とする武士集団。

⑪用土新左衛門（ようどしんざえもん）

実名は業国。藤田氏の一族として、乙千代の藤田家継承にあたる。その子新六郎は氏邦家臣として仕えた。